

山口県における 2013 年の スギ・ヒノキ花粉飛散のまとめ

〔報告：山口県医師会理事 沖中 芳彦〕

昨年秋の観察定点における雄花の着花状態から、今シーズンのスギ花粉飛散総数を、県内測定施設の平均値として、平年値(最近 10 年間の平均) 2,450 個/cm²に対し、その約 1.3 倍の 3,200 個程度と予測しました。

寒い冬でしたが、1 月末から 2 月はじめにかけて暖くなった途端にスギ花粉の飛散が始まり、2 月 2 日が飛散開始日となりました。しかしその後は再度気温が低めに推移し、最多飛散日は 2 月 28 日でした。同日長門市の測定機関では 4,761 個/cm²/日と、過去の 1 日の最多数(2011 年の光市における 3,300 個)をはるかに上回る非常に多くのスギ花粉が捕集されました(図 1)。これまで 1,000 個/cm²/日以上花粉をカウントしたことがない身としては、スライドガラス上がどのようなになっているのか想像が付きませ

ん。おそらく 1.8cm × 1.8 cm の範囲の花粉をカウントするのに 1 時間以上を費やされたのではないかと思います。この日を含め、シーズンを通じて多くの花粉が飛散し、最終的に 23 測定機関の平均として 4,300 個/cm²という、予測のさらに 1.3 倍、平年の 1.75 倍の花粉総数となりました。これはこれまでで 3 番目に多い値となります。相変わらず飛散数は地区による差が著明ですが、今シーズンは、通常はもっとも多い東部の光、柳井地区よりも北部の長門、美祢地区が多く、また中部の割合が例年よりも多かったように思われます(図 2)。

一方ヒノキは過去最多であった一昨年の 2,200 個よりは少なく、昨年の 350 個よりは多い総数を予測していましたが、実測値は約 2,335 個/cm²と、これまでの最多数となりました(図 3)。

図 1

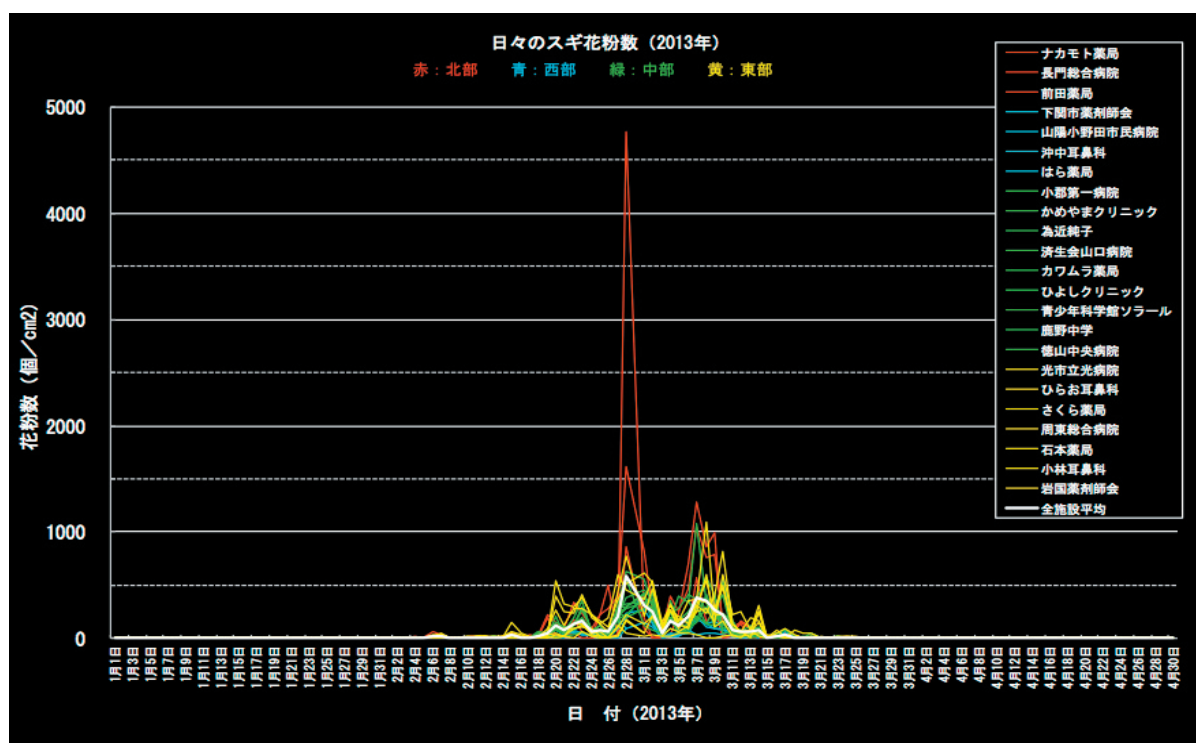


図 2

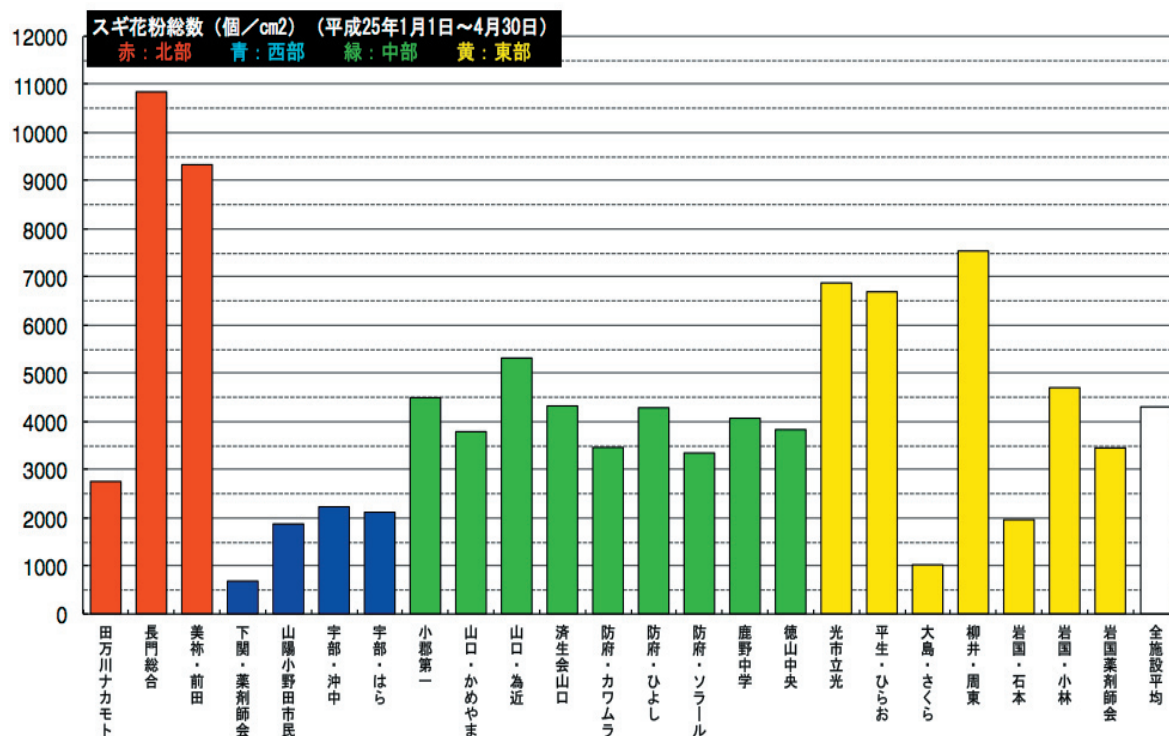


図 3

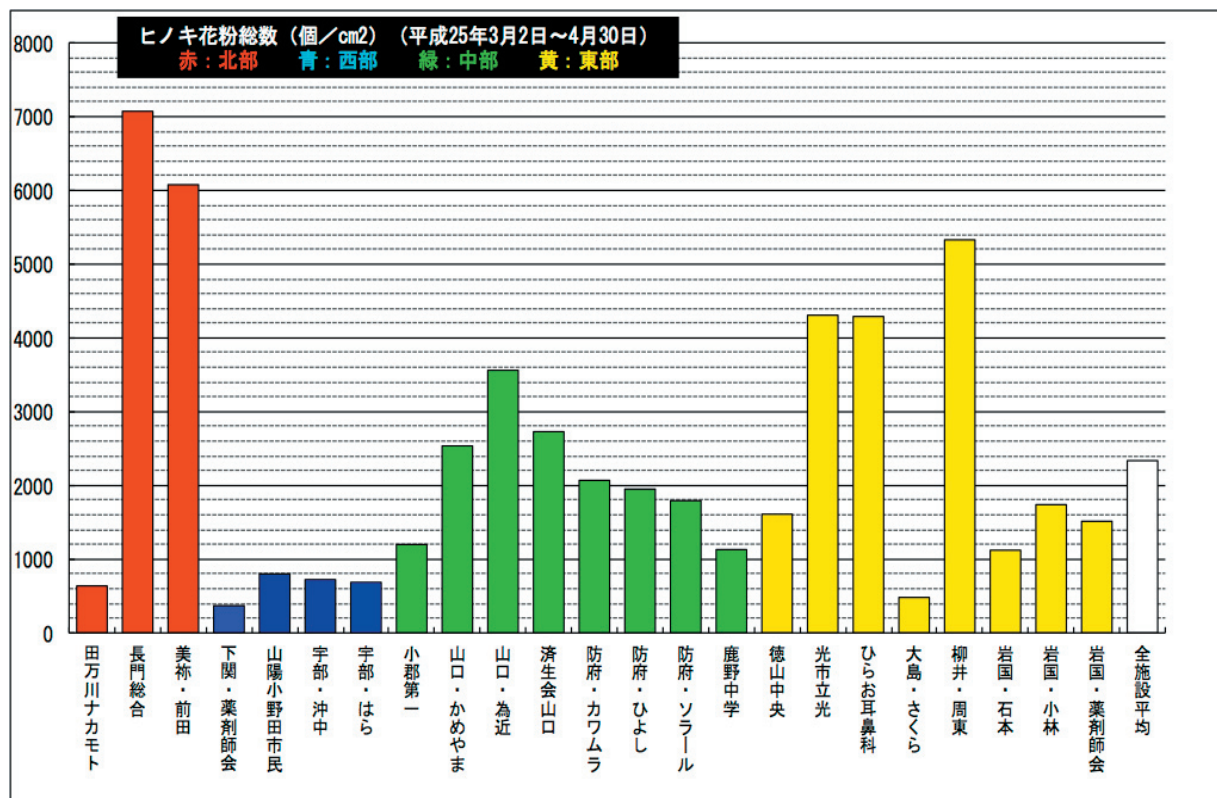
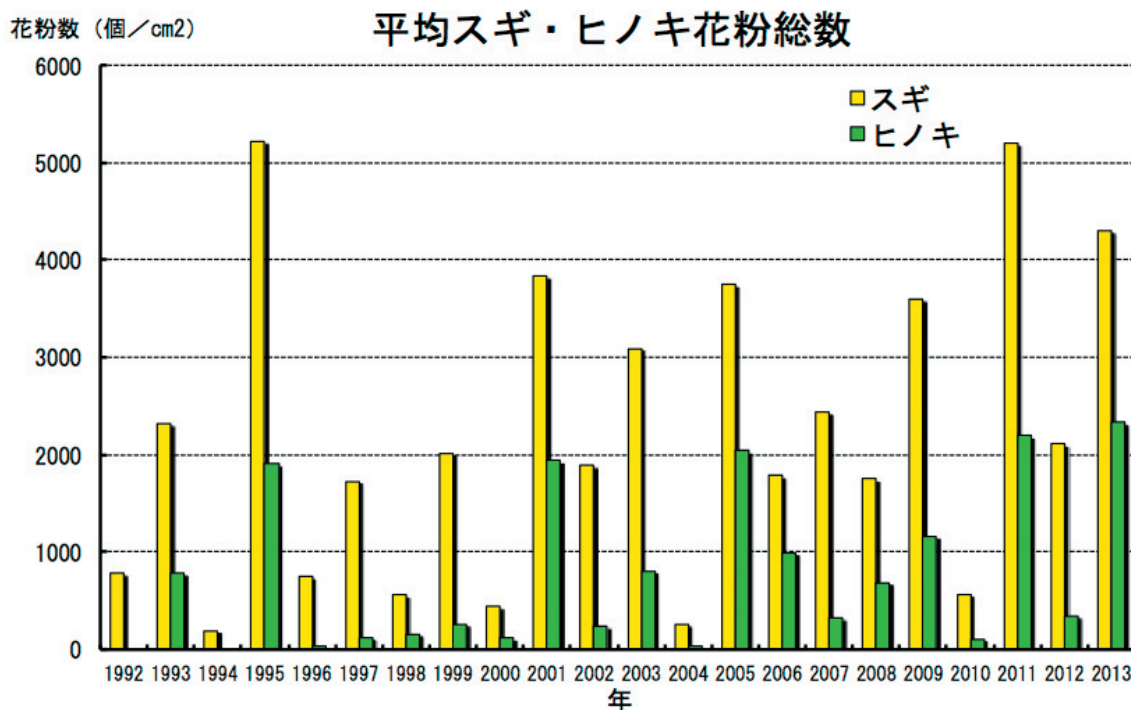


図 4



本年 1 月 20 日 (日) に開催されました県医師会主催の花粉症対策セミナーの際に、「このところ 4 回連続して、スギ飛散の表年 (2 年周期の花粉が多い順番の年) には予測以上の花粉数となっており、今シーズンも回帰式で得られる予測数以上の飛散にならないかと心配している」と申しましたが、まさに心配の通りとなりました。筆者は予測のために毎年 20 数か所のスギの木を観察しています。長いものでは 20 年近く同じ木を観察しており、これらの木は決して若いとは言えない樹齢に達しているように思われますが、この 10 数年の間に全体として雄花を着け易い樹齢の木が増えてきているのかもしれません。2000 年以後はそれ以前に比べてスギ花粉飛散数がかなり増加

しており、2000 年以前の表年の花粉数が 2000 年以後の裏年 (花粉の少ない順番の年) の花粉数とほぼ同じです (図 4)。2000 年以後の表年のほとんどが 3,000 個以上の大飛散となっており、この傾向は当分続くものと思われ、夏の気象条件によっては、まだまだ花粉が増え続けるような気がします。

※図 1～4 については、カラー画像を県医師会ホームページに掲載しております。

<http://www.yamaguchi.med.or.jp>

後継体制は万全ですか?

DtoDは後継者でお悩みの
開業医を支援するシステムです。
まずご相談ください。

(登録無料・無償利用)

お問い合わせ先

0120-337-613
受付時間 9:00~18:00(平日)

山口医師会、山口医事会

総合メディカル株式会社
www.sogo-medical.co.jp ☎0120-337-613

山口支店/山口市小瀬町1番8号 MY小瀬ビル8階
TEL 0830-874-0341 FAX 0830-874-0342
本社/福岡市中央区天神
福岡上野通大濠駅前22番84号 福岡支店大濠駅前45-3-010004